福島県立医科大学 学術機関リポジトリ

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

Title	2020年度看護学部ふくしま看護モデル検討部会活動報告 : 学術活動
Author(s)	ふくしま看護モデル検討部会研究グループ
Citation	福島県立医科大学看護学部紀要. 23: 56-56
Issue Date	2021-03
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1371
Rights	© 2021 福島県立医科大学看護学部
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-20T07:21:05Z

Fukushima Medical University

学　術　活　動

2020年度　看護学部ふくしま看護モデル検討部会活動報告

ふくしま看護モデル検討部会
研究グループ

ふくしま看護モデル検討部会は，“看護実践・教育・研究の拠点”として「ふくしま看護モデル」の構築・展開をしていく部会である．「ふくしま看護モデル」は，実践を中核として，実践をさらに充実させていくための教育・研究として活動を行い，それぞれの３分野における活動を通して，看護学部としての地域貢献・社会貢献を果たしていくものである．2020年度ふくしま看護モデル検討部会では，「実践」・「研究」・「教育」に分かれ活動をすすめてきた．今回は，研究グループの活動状況について報告する．

Ⅰ．看護研究講座－基礎編－

昨年度に引き続き，以下のプログラムで実施した．今年度は，新型コロナウイルス対策を考慮して，２日間のプログラムに集約して開催した．

回	日程	内　容	担　当
1	８月８日 午　前 午　後	看護研究とは／研究計画書の作成 テーマの絞込み／文献検索	髙橋　香子 先生 高瀬　佳苗 先生 他
2	８月22日 午　前 午　後	文献クリティーク 質的研究または量的研究の体験	和田久美子 先生 他 菅野　久美 先生 杉本　幸子 先生 太田昌一郎 先生 他

プログラムは，前年度の基礎編実施に対するアンケート結果である，「研究テーマの絞り込み方がわからない，基礎から全体を学びたい」との要望を踏まえて全体を構成した．参加者は20名だった．第１回目は，【研究とは／テーマの絞込み】の内容を含め講義・演習を組んだ．

アンケートの結果，講義の理解度について全員が，「大変満足した」，「まあまあ満足した」と回答した．第２回目は，文献クリティークと質的研究または量的研究の実際の演習形式を含めた．アンケートの結果，「文献クリティークは，自分でやって一人だとわからなかったが，グループワークをすることで理解することができた」，「質的研究と量的研究どちらも受講したかった」との回答があった．

Ⅱ　看護研究講座－実践編－

2019年度に看護研究講座－基礎編－を終了し，看護研究支援を希望する方を対象に個別研究支援を行う企画である．2020年度現在，５つの施設を対象に看護学部の教員による個別の支援を行っている．2020年度看護研究講座－基礎編－修了者については，2021年２月から申込み受付を行い，2021年４月から２年間の支援予定である．

Ⅲ　次年度に向けての企画

研究グループでは，福島県内の看護研究支援活動を通じて，地域貢献・社会貢献を果たしていくために，本年度のアンケート結果を踏まえて看護研究講座を再構成し継続していきたい．